



# 北小だより

2024年度 No. 4

2024年 7月 23日発行

燕市立燕北小学校



学校ホームページ 2次元コード ↑

ホームページアドレス <https://www14.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510054>

## 夢をもつこと

校長 小川 泰文

失敗してもあきらめずに挑戦することは、誰でもできますか？

ある子が、こんな質問をしました。先日、本校のコミュニティ・スクール委員の樋山証一 様、遠藤忠彦 様から子どもたちに夢をテーマにご講演をいただきました。ご自身のこれまでの人生経験から、子どもたちに向けた熱いメッセージ。大人が未来を担う子どもたちに想いを伝えていくことの大切さをあらためて感じました。

子どもたちが純粋に夢をもち、将来を思い描くことは大切なことです。二人の方からは、「自分のやりたいことを明確にして歩き始めましょう」「どんな状況でも、あきらめないことが大事」と子どもたちに伝えていただきました。講演に先立って、子どもたちにアンケートを行ったところ、ほとんどの子が夢をもっていました。北っ子の将来が楽しみです。

挑戦ということから、3月に民間企業が和歌山県でロケットの打ち上げに挑んだものの、発射数秒で爆発というニュースが思い出されました。歴史的瞬間に立ち会いたいと訪れた大勢の見物客からは落胆の声が聞かれました。しかし、記者会見で社長は次のように述べました。

「失敗という言葉は使わない。一つ一つの試みの中に新しいデータがあり、経験がある。全て新しい挑戦への糧と考えている」と。

子どもたちが将来どんな職業であろうとも、失敗を恐れて新たなことに取り組めないようではその職業にやりがいは生まれません。自分から動く、チャレンジするマインドを今から養っていく必要があります。思い通りにならなかったことと、それを克服するために自分はどうか考えたかの繰り返しが生きる力になります。

そして私たちは、「どうせ無理・・・」などと子どもたちが自尊心を損なう言葉掛けではなく、「努力の先には必ず成功がある」と思えるよう励ましていかなければなりません。無理かどうかは、様々な経験をした上で子どもが決めることです。

1学期が終わります。子どもたちの生活が学校から家庭・地域中心になります。子どもたちが夢に向かって興味のあることにじっくり取り組める時間も増えます。ご家庭でも夢について語り合う時間を設けてはいかがでしょうか。

皆様方には1学期間、本当にお世話になりました。おかげさまで、予定していた教育活動を順調に終わることが出来ます。心より感謝申し上げます。

厳しい暑さが続きますが、子どもたちの可能性を信じ、応援していきましょう。

# 令和6年度 1学期 北っ子の活動



## 1年生

生活科で「あさがお」を育てています。毎朝、水やりや成長する様子を観察してきました。「葉っぱが大きくなったよ」「つらがぐるぐると伸びているよ」など、成長に驚きや感動する子どもたち。7月に入ると、青や紫の花が少しずつ咲き始めました。たくさんの花が咲いた後、種とりも楽しみにしています。

## 2年生

生活科で燕北小学校区の「町たんけん」に行きました。地域の町並みやお店などを調べるため、自分たちで計画をたて、コースに別れて探検。お店の様子を見学したり、働く人にインタビューをしたり、いろいろと発見できた探検になりました。



## 3年生

テーマは「地域のお宝 大発見!」です。学校の周りを探検したり、燕市の公共施設を訪問したり、燕市の自慢やお宝さがしに出かけています。中央公民館や産業史料館では、地場産の製品を見せていただいたり、お話を聞かせてもらったりしました。2学期も、地域のお宝について、さらに詳しく調べていく予定です。



## 4年生

「だれでもHAPPYプロジェクト」をテーマに学習を進めています。燕市内の施設や行政の中心である市役所などを訪問・見学し、市民のための取組を知り、自分たちには何ができるかを考えているところです。今後は、さらに、燕市民のことを知り、幸せを感じてくれるような活動を計画します。



## 5年生

「"made in Tsubame" に学ぼう」をテーマに金属加工産業と米作りの学習をしています。6月には産業史料館と地場産センターを見学し、世界に誇れる「ものづくり」について興味・関心を高めました。今後も様々な見学や体験を通して、燕市の魅力について考えていきます。



## 6年生

6月に佐渡修学旅行に行きました。太鼓体験交流館では鼓童直伝の太鼓体験、小木港でのたらい舟、ゴールドパークでの砂金採りなど、佐渡だからこそできる体験をしてきました。また、ホテルでは鬼太鼓も鑑賞できました。世界文化遺産登録を目指す佐渡の文化や歴史に触れ、魅力をたくさん発見できた修学旅行になりました。



# ◆ アントレプレナーシップ講話 ◆

今年度、新潟県のキャリア教育に係る事業である「アントレプレナーシップ教育推進モデル校」として、教育活動・学習活動を計画・推進しているところです。

7月にコミュニティ・スクール事業の一環として、コミュニティ・スクール委員である樋山証一さん〔(株)ウイング会長〕と遠藤忠彦さん〔ロルノオーナー〕をお迎えして、「夢」と「挑戦」をテーマに講話をしていただきました。お二人とも燕北小学校を卒業生で児童にとって大先輩であり、起業家の方です。



樋山さんの著書  
6年教室に置いて  
あります。

7月9日(火) 5・6年生 講師：樋山 証一 さん「夢は成長と幸せを連れてくる」



「RORNO」店名の由来  
RONDINE + FORNO  
(ツバメ) (窯)



7月10日(水) 3・4年生 講師：遠藤 忠彦 さん

「RORNO=夢の店 夢を叶えるまでの物語 そして現在、新たな夢の途中」

## 【児童の感想より】

- ・ 樋山さんの話を聞いて、夢を持つことの大切さや失敗を恐れずに挑戦することの大切さを学びました。私も失敗を恐れずに、夢や目標に向かって挑戦し続けたいと思いました。
- ・ 「成功」の反対は「失敗」ではなく、「成功」の反対は「何もしないこと」ということだと教えてもらい、いろいろなことに挑戦してみようと思いました。
- ・ 今まで夢についてあまり考えたことがなかったけど、講話を聞いて、これからは夢を持ってその夢に向けて努力をしていこうと思えました。
- ・ 私は、遠藤さんのおかげで自分の夢に自信を持つことができました。
- ・ 私は夢があるので、遠藤さんのように、その夢を叶えるために努力をしていきたいです。

## 【アントレプレナーシップ教育】

自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探究したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育

- ・ 児童生徒が、自ら課題を見つける
- ・ 児童生徒が、実社会(地域)とつながる
- ・ 児童生徒が、失敗体験から学ぶ
- ・ 児童生徒が、社会に新たな価値を提供する

## 【アントレプレナーシップ】

様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし  
新たな価値を生み出していく精神

# 「PTA学年行事」ご参加ありがとうございました。

今年度から再開した「PTA 学年親子行事」各学年のPTA 役員の方を中心に、計画・準備・運営をしていただきました。親子で一緒に体験や調理など、楽しいひとときを過ごし、大人も子どももみんなが笑顔になれました。多くの皆様からご参加・ご協力いただき、充実した活動になりました。学年委員の皆様からは、準備など大変お世話になり、感謝申し上げます。



2学年「親子給食試食会」6月5日(水)

3学年「親子パフェ作り」6月15日(土)

1学期は、さまざまな行事や学習活動を通じて、充実した教育活動を行うことができました。また、校外学習など体験的な活動を通じて、学びを広げたり、深めたりすることができました。

2学期は、弥彦山全校登山、文化祭・学習発表会、マラソン記録会などを予定しています。保護者の皆様からご協力いただく場面もあるかと思えます。今後も当校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## すてきな夏休みをお過ごしください

いよいよ夏休みが始まります。お子さんが有意義な時間を過ごせるように、保護者の皆様から温かい励ましをお願いします。家族のつながりを感じられるすてきな夏休みになるように願っています。



夏休み中に交通事故や大きなけがや入院などの場合は、お手数ですが学校（時間外など場合は教育委員会）にご連絡いただけますよう、ご協力をお願いします。

1. 燕北小学校 0256-63-4051
2. 学校緊急時電話番号 080-8750-2933（教頭）
3. 燕市教育委員会 080-8750-2925 ※夜間・早朝など、緊急の場合